

2025年3月5日

\*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

\*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

## 新型 Audi A6 Avant のワールドプレミア Avant の歴史に新たな章を書き加える、高い品格を備えるモデルを披露

- 日常生活から長距離ドライブまでの高い要求に応える、ダイナミックなデザインと卓越した空力性能
- 部分的な電動走行、優れた効率性とパフォーマンスの両立：MHEV plus マイルドハイブリッドテクノロジー
- スポーティさと快適性の完璧な融合：アダプティブエアサスペンションとオールホイールステアリング

(ドイツ本国発表資料) 2025年3月4日、インゴルシュタット/ネッカーズルム: 新型 Audi A6 Avant は、これまで以上にダイナミックで効率的でデジタルなモデルへと進化しました。プレミアムフルサイズクラスにおいて、他に類を見ないファーストクラスの移動体験を提供します。最新のガソリンおよびディーゼルエンジンは、MHEV plus マイルドハイブリッドテクノロジーにより、パフォーマンスを向上させながら CO<sub>2</sub> 排出量を低減します。長距離ドライブでも市街地走行でも、アダプティブエアサスペンションとオールホイールステアリングが高い乗り心地と俊敏なハンドリングを両立します。空力性能は Cd 値 0.25 という、内燃エンジンを搭載した Audi Avant として最高の数値を実現し、効率性を高めるとともに、形状と機能の完璧な調和を示しています。エクステリアはスポーティかつエレガントなキャラクターを反映し、新たなデジタルライティングテクノロジーによって、Audi A6 Avant の存在感が際立ちます。また、Audi MMI パノラマディスプレイとフロントパッセンジャーディスプレイには、直感的な操作性でユーザーの使いやすさが考えられたインフォテインメントコンセプトが採用されており、より快適なデジタル体験を提供します。

AUDI AG CEO ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、「アウディは Avant の歴史に新たな章を書き加えています。新型 Audi A6 は、エレガントでダイナミックなデザインと、卓越した空力性能を融合させました。効率的でありながら高性能な駆動システムと、最先端のサスペンションテクノロジーにより、スポーティさと高い快適性を両立し、Audi A6 での旅をファーストクラスの体験へと昇華させます」。Audi はこのモデルにより、2024 年に開始した大規模な製品戦略をさらに推進します。製品ポートフォリオの近代化と若返りは、Audi Agenda の一環であり、競争が激化する市場において将来へ向けた立ち位置を強化する取り組みです。デルナーは「Audi A6 を通じて、重要なモデルシリーズの刷新を進めています」と述べています。

### 完璧な調和：デザインと空力性能

Audi A6 Avant は、無駄を削ぎ落としたデザイン言語による、機能的かつ時間を感じさせないデザインが特徴です。それは、Cd 値 0.25 という卓越した空力性能にも反映されており、内燃エンジンを搭載する Avant として最高の数値を誇ります。

優れた空力性能の実現には、大型のエアカーテンや前面の制御式クーリングインテークに加え、特徴的なルーフスポイラーやリヤウィンドウ側面のエアロダイナミクスパネルが大きく貢献しています。また、スポーティなリヤデザインには、Avant らしさを強調する印象的なディフューザーを採用しています。ショルダーラインから力強く張り出した quattro ブリスターとワイドなトレッドが、このモデルのダイナミックなデザインを際立たせます。同時に、ロングホイールベースと伸びやかなボンネットがエレガントさを演出し、Audi A6 Avant の完璧なプロポーションを完成させています。

### 効率性とパワーを両立：MHEV plus テクノロジー

MHEV plus マイルドハイブリッドテクノロジーは、Audi A6 Avant の卓越したドライビングエクスペリエンスを支える重要な要素です。この部分電動化技術は、2.0 TDI 4 気筒エンジン (150 kW) に加え、

3.0TFSI V6 エンジン (270 kW) にも採用しています。MHEV plus は、内燃エンジンをサポートしながらパフォーマンスと快適性を向上させ、CO<sub>2</sub>排出量を削減します。このシステムは、48V バッテリー、BAS (ベルト駆動オルタネータースターター)、統合型パワーエレクトロニクスを備えた PTG (パワートレインジェネレーター) の 3 つの主要コンポーネントで構成されています。PTG により完全電動での駐車や低速走行が可能になり、また、市街地走行時や渋滞時、あるいは郊外での走行の際にも、電力走行が可能です。さらに PTG は、発進時や追い越し時に最大 230Nm のトルクと 18 kW (24 PS) のアシストを提供し、減速時には最大 25 kW のエネルギーを再生し、高効率な走行を実現します。

#### スポーティさと快適性の融合：シャシーとステアリング

新型 Audi A6 Avant は、オールホイールステアリングや、車高とダンピングを調整するアダプティブエアサスペンションといったオプションもあり、スポーティさと快適性をさらに融合させ洗練させることができます。また、quattro スポーツディファレンシャルが、さらなる俊敏性を実現します。

標準装備のプロGRESSIVステアリングも、よりダイレクトなレスポンスを実現しています。トーションバー、剛性高く取り付けられたステアリングラック、強化されたコントロールアームブッシュなどの改良により、先代モデルと比較して、ステアリングホイールからタイヤまでの剛性が全体的に向上しています。さらに、フロントアクスルのキャンバー角をわずかに増加させました。これらの改良により、ステアリングの応答性が向上し、よりダイレクトなフィードバックを得られるようになりました。高性能な駆動システムとの組み合わせにより、軽快で精密なハンドリングを実現します。

オプションのオールホイールステアリングは、quattro 四輪駆動と組み合わせることでさらなる走行安定性を提供します。反応速度がさらに向上したダイナミック機能と連携し、低速時には後輪が前輪と逆方向に最大 5 度まで切れることで、市街地や狭いカーブでの機動性が向上し、最小回転半径が最大 1 メートル縮小します。一方、中速域から高速域では後輪が前輪と同じ方向に切れることで、より安定した正確なハンドリングを実現します。

#### デジタルがもたらす卓越した快適性：インテリア

広々とした空間と最先端テクノロジーにより、新型 Audi A6 Avant のインテリアはファーストクラスの移動体験を提供します。ドライバーオリエンテッドの操作コンセプトを採用し、パノラマディスプレイとパッセンジャーディスプレイによって、新たな次元のデジタル体験を提供します。また、パーソナライゼーションの要素が、ライティングにおいても重要な役割を果たしており、フロントおよびリアの 7 種類のデジタルライトシグネチャーが選択可能となっています。インテリジェントに明るさをコントロールするアクティブセグメントと、第二世代デジタル OLED リヤライトの組み合わせは、先進的なテクノロジーの象徴です。このデジタルライティングテクノロジーは、Audi DNA に不可欠な要素であり、視認性および安全性の向上にも貢献します。

さらに快適性を高める先進装備には、パノラマガラスサンルーフも含まれます。開放感のある空間を演出し、明るく開放的な雰囲気と効果的な遮光をスムーズに切り替えられます。Bang & Olufsen の 3D プレミアムサウンドシステムは、フロントヘッドレスト内のスピーカーを含む高精度なサウンドデザインにより、比類なきオーディオ体験を実現しています。特に、洗練されたエアロコースティックテクノロジーと車両全体の静粛性は、高度な遮音テクノロジーによって最高レベルに引き上げられたため、その質の高いオーディオ体験が実現できました。さらに、オプションの 4 ゾーンオートマチックエアコンにより、ドライバー、助手席および後部座席の乗員、それぞれに最適な温度環境を保ちます。イオナイザーと微粒子センサーを含む空気質オプションを選択すれば、車内の空気をよりきれいに保つことができます。

#### 受注・納車開始

新型 Audi A6 Avant の受注は 2025 年 3 月より開始。納車開始は 2025 年 5 月末を予定しています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2024年、アウディ グループは、170万台のアウディ、10,643台のベントレー、10,687台のランボルギーニ、および54,495台のドゥカティを販売しました。2023会計年度において、アウディグループは総収益699億ユーロ、営業利益63億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2023年に87,000人以上が働き、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---